

予算の概要

■ 一般会計の歳入と歳出のポイント

歳 入

市 税

個人市民税は、納税義務者数の減など、また法人市民税は、新型コロナウイルス感染症などの影響による減額を見込んでおり、市民税全体では、前年度比4.7%減の14億1,634万円となっています。

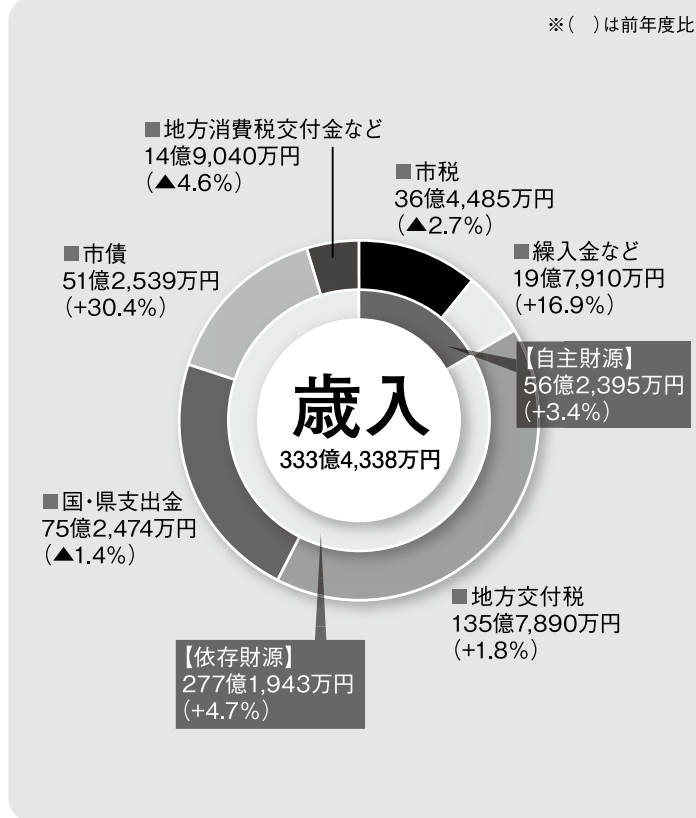
また、固定資産税では、土地・家屋ともに、評価替えに伴う減収に加え、新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置による減収を見込み、市税全体では前年度比2.7%減の36億4,485万円を見込んでいます。

地方交付税

普通交付税の算定に用いる国勢調査人口の置き換えによる減額を見込む一方、公債費（市債の元利償還額）の増額や、社会保障費の伸びに加え、防災・減災対策、さらに新型コロナウイルス感染症対策を見据えた重要課題への対応などにより、地方交付税全体で前年度比1.8%増の135億7,890万円を見込んでいます。

国県支出金

国庫支出金は、庄原市民会館・庄原自治振興センター大規模改修に係る社会資本整備総合交付金などを増額とする一方、県支出金は、主に豪雨災害による復旧事業補助金を減額としており、国県支出金の合計は、前年度比1.4%減の75億2,474万円を見込んでいます。



歳 出

災害復旧事業費

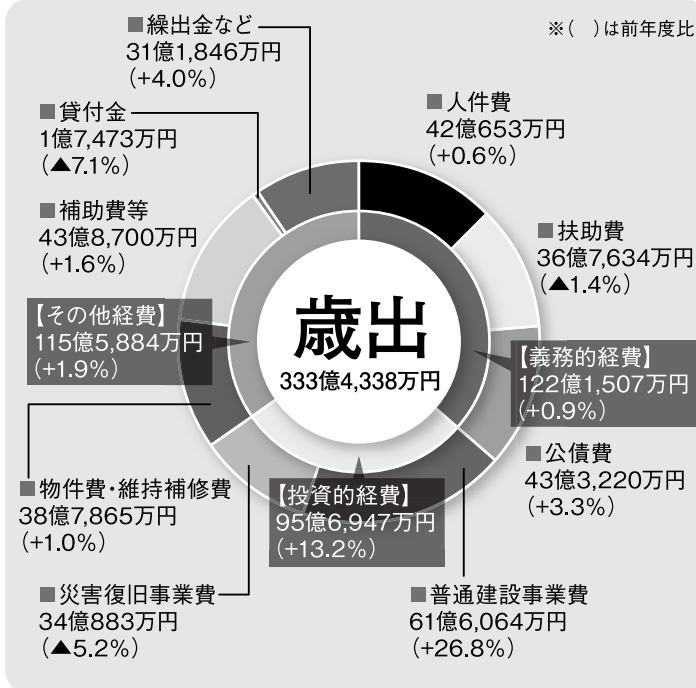
平成30年7月、令和2年7月豪雨災害の復旧・復興のさらなる加速化を図るため、災害復旧事業費全体では、前年度比5.2%減の34億883万円を計上しています。

普通建設事業費

新焼却施設整備事業のプラント建設工事や庄原市民会館および庄原自治振興センターの大規模改修工事のほか、住民告知システムの機器更新、子育て支援施設実施設計などを予定しており、前年度比26.8%増の61億6,064万円を計上しています。

補助費等

コロナ禍における感染リスクの軽減などを図るために導入したキャッシュレス決済のさらなる普及に係る補助金の新設、周産期医療運営体制の充実に向けた補助金の増額や4月に執行される市長および市議会議員選挙に伴う選挙運動公費負担金の増額により、前年度比1.6%増の43億8,700万円を計上しています。



新型コロナウイルス感染拡大防止対策

令和3年度当初予算で、新型コロナウイルス感染症への対応について、継続した感染症予防対策の徹底を図るため、3,897万円を計上しています。

- 消毒液、フェイスシールド など
- イベント用サーマルカメラ整備
- 高齢者・障害者の一時滞在施設および在宅生活の支援
- 保育所施設網戸設置工事 など

令和3年度 当初予算

財政課財政係 ☎0824-73-1129

令和3年度当初予算では、市民の暮らしの安心・安全の確立を最優先とし、災害復旧・復興のさらなる加速化と新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底に努めるとともに、「第2期長期総合計画・後期実施計画」および「第2期庄原いちばんづくり」に基づく重点施策の展開を基本とした予算編成を行いました。

災害復旧事業では、平成30年7月豪雨による被災箇所の復旧に全力で取り組んできましたが、令和2年7月豪雨災害に伴う被災箇所の増破などにより、復旧工事の進捗に大幅な遅れが生じており、引き続き最優先で実施するため、約34億円を予算化しています。

また、依然として収束が見通せない新型コロナウイルス感染症への対応については、継続した感染症対策の徹底を図るため、3,897万円を予算化しています。

その結果、一般会計当初予算額は333億4,338万円で、3年連続の増額となり、合併以降、最大の予算規模となりました。

さらに、「第2期長期総合計画」に掲げる「美しく輝く 里山共生都市」の実現に向け、不妊治療対策の拡充や子育て支援施設改築など、子育て環境のさらなる充実や農林業による地域資源のブランド化の推進など「第2期庄原いちばんづくり」に掲げる施策を着実に展開するための予算編成としています。

※金額は万円未満を四捨五入していますので、内訳の合計は必ずしも一致しません。 ※▲はマイナスを表しています。

予 算 額

■ 会計別の令和3年度予算額および前年度予算額との比較

会 計 名	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
一般会計	333億4,338万円	319億480万円	14億3,858万円	4.5%
特別会計	116億7,447万円	118億6,052万円	▲1億8,605万円	▲1.6%
住宅資金特別会計	274万円	339万円	▲66万円	▲19.3%
歯科診療所特別会計	2,492万円	2,226万円	266万円	12.0%
休日診療センター特別会計	1,241万円	1,254万円	▲14万円	▲1.1%
国民健康保険特別会計	38億7,550万円	38億7,685万円	▲136万円	0.0%
国民健康保険特別会計(直診勘定)	7,797万円	7,429万円	368万円	5.0%
後期高齢者医療特別会計	6億8,128万円	7億1,854万円	▲3,726万円	▲5.2%
介護保険特別会計	63億2,003万円	64億6,093万円	▲1億4,090万円	▲2.2%
介護保険サービス事業特別会計	5,739万円	5,512万円	227万円	4.1%
農業集落排水事業特別会計	3億8,123万円	3億9,767万円	▲1,644万円	▲4.1%
浄化槽整備事業特別会計	2億3,901万円	2億3,693万円	208万円	0.9%
宅地造成事業特別会計	199万円	199万円	0万円	0.0%
企業会計	51億8,964万円	50億9,424万円	9,540万円	1.9%
水道事業会計	20億3,278万円	20億2,497万円	781万円	0.4%
下水道事業会計	15億4,575万円	15億7,842万円	▲3,267万円	▲2.1%
病院事業会計	16億1,112万円	14億9,086万円	1億2,027万円	8.1%
比和財産区特別会計	640万円	271万円	369万円	136.1%
合計	502億1,389万円	488億6,227万円	13億5,162万円	2.8%

予算の使途

■ 目的別に見た市民1人に使われる市のお金（一般会計）

● 1人当たり 97.7万円 人口 34,145人(令和3年1月31日現在)

民生費	公債費	衛生費	総務費	災害復旧費	土木費	農林水産業費	その他
高齢者・障害者などの福祉、子育て支援などに	市債(借入金)の元金と利子の返済に	医療の充実、健康診査、ごみ処理、水道事業などに	自治振興、生活交通対策、戸籍事務などに	公共土木施設・農林水産施設の災害復旧に	道路整備、区画整理、公園・公営住宅の管理などに	新規就農者支援、農業担い手支援、森林整備などに	学校教育、社会教育、市議会運営、商工業、観光振興、防災などに
21.3万円	12.7万円	12.2万円	11.7万円	10.0万円	7.4万円	7.4万円	14.9万円

令和3年度当初予算における災害復旧事業

令和3年度当初予算では、平成30年7月および令和2年7月に発生した豪雨による災害復旧事業費など、34億883万円を計上しています。

公共土木施設災害復旧事業など
(市の管理する道路、河川などの復旧) 18.1億円

農林水産施設災害復旧事業
(農地、農業用施設、林道などの復旧) 16億円

主な事業

■ 庄原いちばんづくりの3つの基本政策に沿った事業を紹介します

「地域産業」のいちばん

比婆牛ブランド化の推進

4,703万円【拡充】

比婆牛のPRの推進や取扱店舗を支援し、ブランド力の向上と消費拡大に向けた取り組みを継続します。また、比婆牛素牛生産奨励金の新設などにより、比婆牛肥育頭数を増やす取り組みの拡充を図ります。

22世紀の庄原の森林づくり

746万円【継続】

令和2年度に整備した森林活動体験施設を拠点として、山や木材について学習する体験プログラムを行うことで、森林への理解と関心を高め、将来的に林業を担う人材を育成します。

お試しオフィス整備事業

2,100万円【新規】

既存施設を活用したお試しオフィスを整備し、次世代の働く場を創出することで、都市部からの移住定住者の拡大や、企業誘致の促進を図ります。

こんな事業も

● 森林経営管理事業の推進 1億3,210万円 ● 中小企業振興対策 8,432万円 ● キャッシュレス決済導入支援事業 900万円

「暮らしの安心」のいちばん

新焼却施設の整備

18億7,648万円【継続】

焼却施設の老朽化への対応を図り、安心確実なごみ処理を行います。令和4年4月の供用開始を目指し、令和3年度はプラント建設工事の完成を予定しています。

子育て支援施設の整備

1,525万円【新規】

利用児童数の増加や老朽化の進む庄原小学校子育て支援施設を改築し、安心・安全な放課後児童クラブの運営を行います。

令和3年度は改築内容を整理する実施設計を行います。

周産期医療運営支援

4,350万円【拡充】

本市の中核病院である庄原赤十字病院において、安心して子どもを産み育てる環境を維持するため、周産期医療の運営に対し、財政的支援を行います。

こんな事業も

● 住民告知システム機器更新事業 1億7,534万円 ● 病後児支援室の整備 540万円 ● 学校教育環境の充実 8,293万円

「にぎわいと活力」のいちばん

庄原市民会館・庄原自治振興センター整備事業

10億984万円【継続】

庄原市民会館を大規模改修し、現代的な利用ニーズを踏まえた機能増進を図ります。

また、併設されている庄原自治振興センターについても、フリースペースや多目的ホールを新設し、地域住民の主体的な地域づくり活動の充実を図ります。

比婆いざなみ街道物語の推進

442万円【継続】

街道沿線地域の森林整備や環境整備を行い、多種多様な地域資源の認知度の向上、観光誘客、地域経済の活性化を図り、魅力発信に取り組みます。

定住促進事業

4,431万円【拡充】

本市への転入・定住に結びつけるための効果的な事業実施に向け、市民と行政の連携・協働により、研修会などを開催し、地域情報の発信や地域の活性化を図ります。

こんな事業も

● 国営備北丘陵公園北入口エリア社会実験事業 722万円 ● アウトドア施設活用促進事業 80万円 ● 東部連携新街道事業 24万円

第2期持続可能な財政運営プランによる効果額

令和3年度当初予算における第2期持続可能な財政運営プランによる効果額は次のとおりです。

【歳入】

取組項目	目標額	効果額
市税	1,535万円	1,414万円
使用料	843万円	260万円
手数料	473万円	94万円
財産収入	100万円	140万円
諸収入等 (広告料収入など)	400万円	3,800万円
歳入合計(A)	3,351万円	5,708万円

【歳出】

取組項目	目標額	効果額
物件費	▲24,534万円	▲24,698万円
補助費等	▲12,051万円	▲9,904万円
公債費	▲4,502万円	▲5,447万円
繰出金	▲2,083万円	▲1,886万円
普通建設事業費	▲9,000万円	▲9,000万円
歳出合計(B)	▲52,170万円	▲50,935万円

【効果額および目標額の合計】

合 計	目標額	効果額
合計(B-A)	▲55,521万円	▲56,643万円

